「問いかける」教室　261 頁　抜け落ち

日本一の冒険家でした。植村さんがなくなったのがこのマッキンリーです。43 歳のとき、真冬のいちばん寒い厳冬期に一人で頂上に立ちましたが、その後連絡が途絶えてしまいました。亡くなったと言いましたが、今も遺体は発見されておらず、正確には消息不明のままです。

僕が登ったのは 5 月という山野紀行がいちばん安定する時期でした。それでも雪に覆われた白一色の世界。最初の平坦なルートはスキーとそりを使い、岩と雪の斜面になると大きなザックを背負って、ひたすら登り続けます。

マッキンリーは標高 6,194m.。6,000m を超えると高所登山の世界に入るのです。それを 19 歳から 20 歳にかけての時期にマッキンリーで初めて体験しました。

初めて高山病にもかかりました。標高が高くなると気圧が下がって空気が薄